

サウジアラビアの状況

2021年5月24日

辻上奈美江

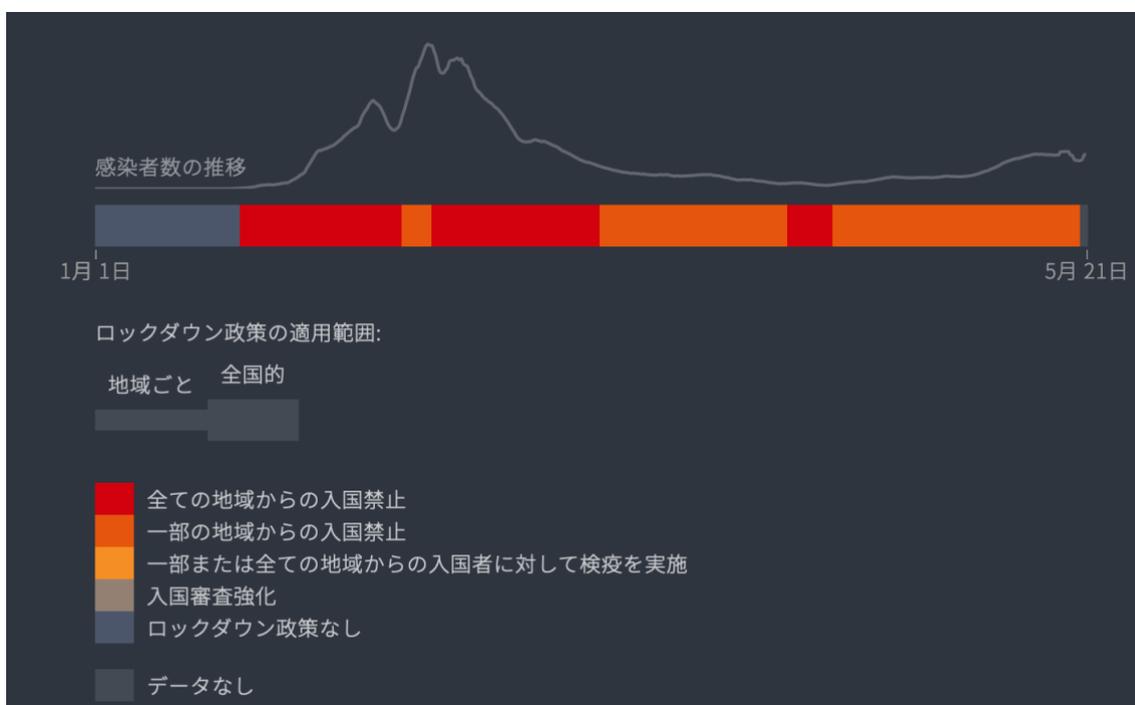
● コロナ対応

・ サウジアラビアにおけるコロナ感染者数：43万8700人、死者7200人(2021年5月22日現在、サウジアラビア保健省)

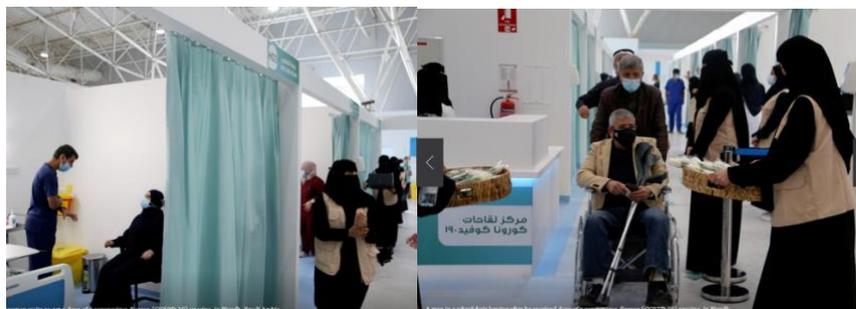
・ ワクチン接種者数：1267万人(同上)

参考：人口3422万人(2019年、サウジアラビア総合統計局)

・ 感染者数の推移(出典：ロイター <https://graphics.reuters.com/world-coronavirus-tracker-and-maps/ja/countries-and-territories/saudi-arabia/>)



・ スマホのアプリを活用したワクチン接種予約：サウジ国籍および外国人居住者が対象、2020年12月16日開始(ファイザーとビオンテック)



出典：<https://www.reuters.com/article/us-health-coronavirus-saudi-idUSKBN28Q347>

●Green Saudi Initiative、Green Middle East Initiative の取り組み

- ・ルブウ・アル＝ハーリー砂漠が国土の4分の1程度を占める。
 - ・石油、水、電気など：長年にわたり政府補助金に支えられ、国民は安価で利用可能。
- ⇒財政難や国際的環境意識の高まり



KACARE(King Abdullah City for Atomic and Renewable Energy)は2012年、2032年までの発電量に占める非化石燃料の割合を50%に引き上げる目標（→下方修正）

2016年4月：ビジョン2030の発表⇔2030年までの再生可能エネルギーの目標割合50%（国王主導の「国家再生可能エネルギープログラム」の開始）

2021年3月27日：ムハンマド皇太子が提唱。炭化水素技術の利用、500億本の木の植樹。中東地域における二酸化炭素排出量60%削減が目標

参考：ビジョン2030において日本は戦略的パートナーの一国（米国、中国、日本）

「日本・サウジ・ビジョン2.0」：IoT、ハイブリッド再生可能エネルギー供給インフラの導入促進、低炭素エネルギーシステム技術の共同研究、廃棄物管理など新たなプロジェクトの追加

⇒今後の課題：ウィズ・コロナ時代における覚書の締結にとどまらない実質的な協力の模索

●人権

- ・「悪名高き」サウジの人権対応

2018年10月：WAPOジャーナリスト殺害事件

2018年5月～自動車運転活動家拘束と釈放

2017年11月：「汚職撲滅」王族や現職閣僚も拘束の対象

- ・外国人労働者、女性の権利向上の見通し

2021年3月：「身元引受人制度（スポンサー制度）」修正→外国人労働者、転職可能に

2019年「住民登録法」改正：子どもに対する男女のより対等な関係、後見人としての男性の支配権の縮小など⇒2021年中に家族法成立か